

事例8

事業の概要	(階段の改造、手摺り設置)	受付：平成5年10月		
デイサービスの利用以外は、2階で寝たきりの生活を送っている。 この唯一の外出をより安全に行なえるよう階段を改造し、手摺りをとりつけた例。				
改造費用： 463,000円 うち助成額： 463,000円				
福祉機器の利用	内公的助成には○ 手摺り			
改善に関わった人：福祉関係者窓口、保健婦				
改造事業実施者： 工務店				
原因疾患：右大腿部頸部骨折 女87歳 身障手帳2級 障害名：歩行障害				
ADL				
日常生活	①寝たきり	2車椅子	3介助で歩行可能	4独歩
排泄	①おむつ	2ポータブル	3介助でトイレ	4自力
入浴	1出来ない	②介助で入浴	3自力で入浴	
手の動作	1操れない	2軽く動かせる	③支障ない	
食事	1介助	2一部介助	③自分で出来る	
衣服の着脱	1介助	②一部介助	3自分で出来る	
会話	1不自由・理解不能	2不自由だが可能	③普通・不自由なし	
洗面	①介助	2一部介助	3自分で出来る	
玄関出入り	①介助	2一部介助	3自分で出来る	
階段昇降	①介助	2一部介助	3自分で出来る	
家族構成	： 娘夫婦	主な介助者	： 娘 54歳	
改造希望	： 家族	改造に対する家族の態度	： 積極的	
費用負担能力	： 有り	費用負担意志	： 有り	
住宅 持家、長屋、木造				
〔本人、家族の改造希望箇所〕				
入浴サービス利用、階下での生活の拡大のために階段を安全にしたい。				

〔改善の具体的内容〕

階段の改造、壁の補強、手摺りの取付け、及び階下浴室・トイレに通じるDKの床を貼りかえた。

〔改造による本人及び家族の生活変化〕

階段が丈夫になり、デイサービスの為の職員の介護が少し安全になった。
しかし、日常の生活は2階で寝たきりのままでトイレはポータブル、食事は運んでもらっている状態。お風呂はデイサービスを利用している。家族の階段の昇り降りも少しは安全になったかも知れないが、本人の生活の変化はほとんどない。

〔改善の問題点・残された課題〕

当初希望されていた階下での生活の拡大という点では、少々階段が丈夫になったぐらいでは、日常介護に必要な上下階の移動を助ける事にはならない。階段昇降機等の導入をもう少しいねいに検討してみても良かったのではないかと。

DK部分の床の貼りかえは、本人が使っていないので、結果的には本事業の主旨にあてはまらない余分な改造になってしまっている。（単に老朽化した床を美しくしたのみ）当事者のニーズに見合った適切な改善案が検討される必要がある。



事例9

事業の概要 (玄関の改造)		受付：平成5年10月	
介助負担の軽減を図るため、玄関扉を取替えて通りやすくし、携帯用のスロープを設置した事例。			
改造費用： 180,000円 うち助成額： 180,000円			
福祉機器の利用 (日常生活給付事業利用) 車いす、ベット、マットレス			
改善に関わった人：ケースワーカー、PT、保健婦、在宅支援センター職員			
改造事業実施者：工務店 病院PTの紹介			
原因疾患：脳梗塞 男78歳 身障手帳1級 障害名：左上下肢機能全廃			
ADL			
日常生活	1 寝たきり	②車椅子	3 介助で歩行可能 4 独歩
排泄	1 おむつ	2 ポータブル	③介助でトイレ 4 自力
入浴	1 出来ない	②介助で入浴	3 自力で入浴
手の動作	1 操れない	②軽く動かせる	3 支障ない
食事	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
衣服の着脱	①介助	2 一部介助	3 自分で出来る
会話	1 不自由・理解不能	2 不自由だが可能	③普通・不自由なし
洗面	1 介助	②一部介助	3 自分で出来る
玄関出入り	①介助	2 一部介助	3 自分で出来る
階段昇降	①介助	2 一部介助	3 自分で出来る
家族構成	： 高齢夫婦	主な介助者	： 妻77歳
改造希望	： 本人及び家族の希望	改造に対する家族の態度	： 積極的
費用負担能力	： 無し	費用負担意志	： 無し
住宅 持家、一戸建て、木造			
〔本人、家族の改造希望箇所〕			
居室間の段差解消、玄関出入口の拡張と段差（上がり框）解消、浴室出入口の拡張 車いす用の洗面台			

[改善の具体的内容]

玄関引き戸を開き戸に変えて通行幅を広げ、玄関上がり框を取り外しスロープを付け、玄関ポーチもモルタル塗りでスロープにし、直線で外に出られるように改造。

各室間を車いすにより移動できるように、三角板の小スロープを設置し、30mmの段差が超えられるようにした。

[改造による本人及び家族の生活変化]

玄関を開き戸に変更したことにより、今まで外出の度に2枚の引き戸を取り外していた手間がなくなり、外出しやすくなった。居室の敷居部分に設置した三角板の小スロープは、車いすの移動に役立っているが、歩行訓練がしにくくなった。

[改善の問題点・残された課題]

家族の希望である浴室入口の拡張は、浴室の出入りの負担軽減には効果的であり、建築士との連携により工夫できたのではと思われる。



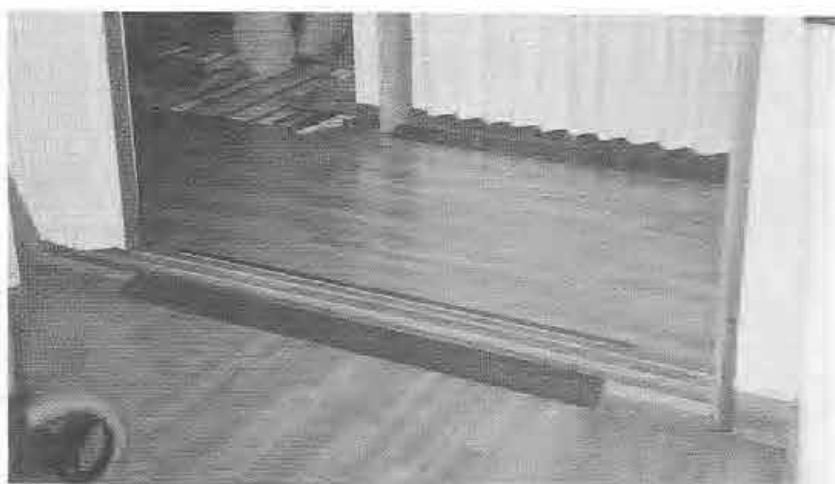
改装前



改装後



玄関から道路へのスロープ



敷居につけたスロープ

事例10

事業の概要 (玄関出入口変更)		受付：平成5年10月	
寝たきりの妻の外出介助を容易にする為、玄関出入口の2枚引戸を開戸に変更し、スロープを設置した例。			
改造費用： 208,000円 うち助成額： 208,000円			
福祉機器の利用 ベッド、マットレス、車イス			
改善に関わった人：老人ワーカー、PT、看護婦			
改造事業実施者： 工務店、PTの紹介による			
原因疾患：左大腿骨頸部骨折 女70歳 身障手帳4級 障害名：左股関節機能全廃			
ADL 移動手段			
日常生活	①寝たきり	2車椅子	3介助で歩行可能 4独歩
排泄	①おむつ	2ポータブル	3介助でトイレ 4自力
入浴	①出来ない	2介助で入浴	3自力で入浴
手の動作	1操れない	2軽く動かせる	③支障ない
食事	1介助	2一部介助	③自分で出来る
衣服の着脱	①介助	2一部介助	3自分で出来る
会話	1不自由・理解不能	2不自由だが可能	③普通・不自由なし
洗面	1介助	②一部介助	3自分で出来る
玄関出入り	①介助	2一部介助	3自分で出来る
階段昇降	①介助	2一部介助	3自分で出来る
家族構成	： 高齢夫婦世帯		主な介助者： 夫 72歳
改造希望	： 本人、家族とも希望		改造に対する家族の態度： 積極的
費用負担能力	： なし		費用負担意志： 普通
住宅 持家、長屋、木造			
[本人、家族の改造希望箇所]			
玄関口、トイレ、浴室			

[改善の具体的内容]

玄関サッシの入替え（2枚引戸をドアに変更）、出入の為式台を延長する。

取外し式スロープを設置、出入の為に建具入替え（新調）

[改造による本人及び家族の生活変化]

それまで外出時に扉をはずしていたが、巾広のドアに変更する事で、外出介助は容易になったが、トイレ、浴室の改造がなされていないので、生活の主たる介助部分は軽減されていない。

[改善の問題点・残された課題]

・夫の外出時に火の消し忘れがあったので、緊急連絡方法の検討必要。

（家の前に赤いサイレン灯を付けるetc.）

・トイレ、浴室を改造して日常の介護負担の軽減を図る。



事例 1 1

事業の概要 (浴室、洗面、玄関出入り)		受付：平成5年12月	
特異な例で重度の空間認知、身体認知等の障害症状があり、改造がかえって介護負担を増加させるケース。但し、精神的負担は軽減されている。(介護者の)			
改造費用： 482,000円 うち助成額： 482,000円			
福祉機器の利用 ベッド、車イス、ポータブルトイレ			
改善に関わった人：老人ワーカー、PT、保健婦			
改造事業実施者： 工務店、家族の選定			
原因疾患：脳出血 男66歳 身障手帳1級 障害名：左上下肢機能全廃			
ADL 移動手段			
日常生活	1 寝たきり	②車椅子	3 介助で歩行可能 4 独歩
排泄	1 おむつ	②ポータブル	3 介助でトイレ 4 自力
入浴	①出来ない	2 介助で入浴	3 自力で入浴
手の動作	1 操れない	②軽く動かせる	3 支障ない
食事	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
衣服の着脱	①介助	2 一部介助	3 自分で出来る
会話	1 不自由・理解不能	②不自由だが可能	3 普通・不自由なし
洗面	1 介助	②一部介助	3 自分で出来る
玄関出入り	①介助	2 一部介助	3 自分で出来る
階段昇降	①介助	2 一部介助	3 自分で出来る
家族構成	： 2人		主な介助者： 妻 62歳
改造希望	： 家族希望		改造に対する家族の態度： 積極的
費用負担能力	： 無し		費用負担意志： 無し
住 宅 持家、長屋、木造			
〔本人、家族の改造希望箇所〕			
浴室出入口の拡張と段差の解消、玄関出入口スロープ、車椅子用洗面台			

[改善の具体的内容]

浴室出入口サッシを交換し開口巾広げる。(後日シャワーチェアを申請→検討される) 玄関出入口に踏台(上框と土間の1/2の高さ)設置、玄関前室内側の引戸の建具をアコーディオンドアに変更。車椅子用洗面台を購入、設置。

[改造による本人及び家族の生活変化]

介護者の介助の軽減化(特に精神的に)。改造よりも入浴サービス、ヘルパー、ボランティア、保健婦による介護の負担の軽減が大きい。

[改善の問題点・残された課題]

- ・医療との連携が必要と思われる。
- ・本人が認知障害である事を判らずに洗面台を決定した為、洗面台蛇口の押して水を出せるが引き上げて水を止められない。

事例12

事業の概要 (トイレの改造)		受付：平成5年9月	
トイレ動作の自立をめざした改造に終わってしまったが、住宅内生活全般にわたってきめ細かな改善検討がなされていれば、現在ばかりでなく将来に渡って、快適・安全・自立的な生活が期待できると思われる進行性難病の主婦の事例。			
改造費用： 643,750円 うち助成額： 333,333円			
福祉機器の利用：			
改善に関わった人：市CW、PT、保健婦、市建築士			
改造事業実施者：設備業者 両国設備、上下水道工事			
原因疾患：パーキンソン 女64歳 身障手帳1級 障害名：左上肢機能障害、			
ADL	移動手段	両下肢機能障害	
日常生活	1 寝たきり	2 車椅子	3 介助で歩行可能 ④独歩
排泄	1 おむつ	2 ポータブル	3 介助でトイレ ④自力
入浴	1 出来ない	2 介助で入浴	③自力で入浴
手の動作	1 操れない	②軽く動かせる	3 支障ない
食事	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
衣服の着脱	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
会話	1 不自由・理解不能	2 不自由だが可能	③普通・不自由なし
洗面	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
玄関出入り	1 介助	②一部介助	3 自分で出来る
階段昇降	1 介助	②一部介助	3 自分で出来る
家族構成	： 夫、長男、次女		主な介助者： 次女 38歳
改造希望	： 本人		改造に対する家族の態度： 積極的
費用負担能力	： 有り		費用負担意志： 有り
住宅 持家、一戸建、木造			
〔本人、家族の改造希望箇所〕			
トイレ			

[改善の具体的内容]

小便器と和便器の二室構成のトイレを一室にし、洋便器を採用。
移動用横手すり3本、便座からの立ちあがり用縦手すり1本をとりつけ、
敷居をとりのぞく事による出入口段差の解消。

[改造による本人及び家族の生活変化]

膝が曲りにくく、和式トイレが非常に使いにくかったが、洋式ウォシュレットに
変えた事で、後始末の必要もなくなり手にかかる負担が軽減された。

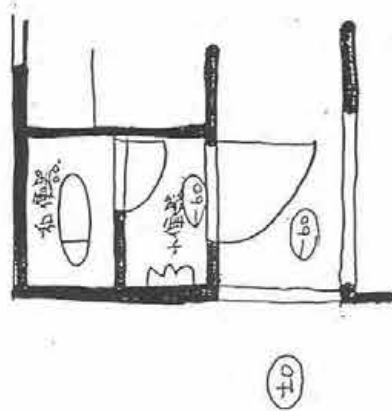
[改善の問題点・残された課題]

進行性疾患の場合、将来の見通しが必要。この方の場合移動(W/C)、移動リフト
などの利用が将来予測されるが、床面の小さな(5cm以下)段差が各所にあり、かつ
床のレベル差もある。改造費用とのするあわせでどこまでの改善工事が可能なのかの
線引きが難しい。

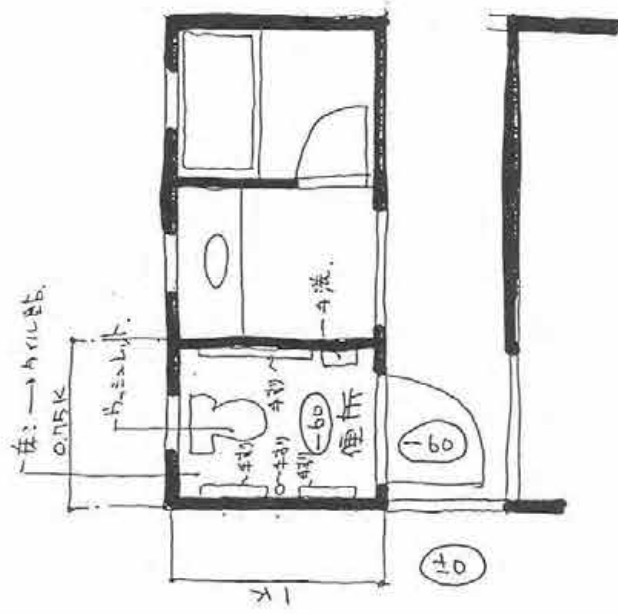
改造レベル設置及び、生活の自立に向けた住宅内生活のすべてにわたって対象とする
と(主婦としてできることはいつまでもできるような住環境の整備)相当多くの効果、
快適安定自立的な生活、かつ目ざせるケースである。

トイレのみに限定されてしまった事に問題が残る。

改善前



改善後



事例 13

事業の概要 (居室、便所、浴室改造)		受付：平成5年4月	
近所の妹、ヘルパー、友人などの支えで自立的生活を続けている脳性小児マヒによる障害を持つ男性の為に将来車いす生活を見込して、全面改築。自助具の多用、工夫などの方法で安全、自立、介助負担の軽減（特に入浴）、行動範囲の拡大など多面的改造検討によりできるだけ自立的な生活が確保できた事例。			
改造費用： 2, 219, 764円		うち助成額： 500, 000円	
福祉機器の利用 : 浴槽、湯沸器、特殊便器			
改善に関わった人：市ケースワーカー、PT、保健婦、市建築士			
改造事業実施者：設備業者 河崎工務店、総合建築設計施工、親類			
原因疾患：脳性小児マヒ男42歳 身障手帳1級 障害名：体幹機能障害、座位不能			
ADL			
日常生活	1 寝たきり	②車椅子	3 介助で歩行可能 ④独歩
排泄	1 おむつ	2 ポータブル	3 介助でトイレ ④自力
入浴	1 出来ない	2 介助で入浴	③自力で入浴
手の動作	1 操れない	②軽く動かせる	3 支障ない
食事	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
衣服の着脱	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
会話	1 不自由・理解不能	2 不自由だが可能	③普通・不自由なし
洗面	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
玄関出入り	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
階段昇降	1 介助	②一部介助	3 自分で出来る
家族構成	: 単身	主な介助者	: 近所の妹
改造希望	: 本人	改造に対する家族の態度	:
費用負担能力	: 普通	費用負担意志	: 普通
住宅 民営、一戸建て、木造			
〔本人、家族の改造希望箇所〕			

〔改善の具体的内容〕

居室床塩ビシート敷、便所、浴室をワンルームに改造し、居室と床の高さ揃え、床にプールサイド用ノンスリップシートを使用（タイルより防水性、クッション性、あたたかさに対するの工夫がしやすい）。将来に備え洗濯機置場ば床をめくるとFL-300になる用工夫。便所・浴室をワンルームにし空間を整理した事によって、台所も広がる。安全対策としてコンロ用自動消火器設置。

自助具の作成 1. 大きなハンドル付住宅のカギ

2. カン切り、ガスコンロスイッチ、コーヒーメーカーのスイッチを
使いやすくするためにハンドルにアジャスト

3. ツメ切り 指にツメ切りを固定

4. 角度を自分に合わせた変形スプーン

5. 手首の固定バンド

自助具の購入 1. 紙パックののみ口

2. 缶ビールののみ口

3. コンセントをはずす器具

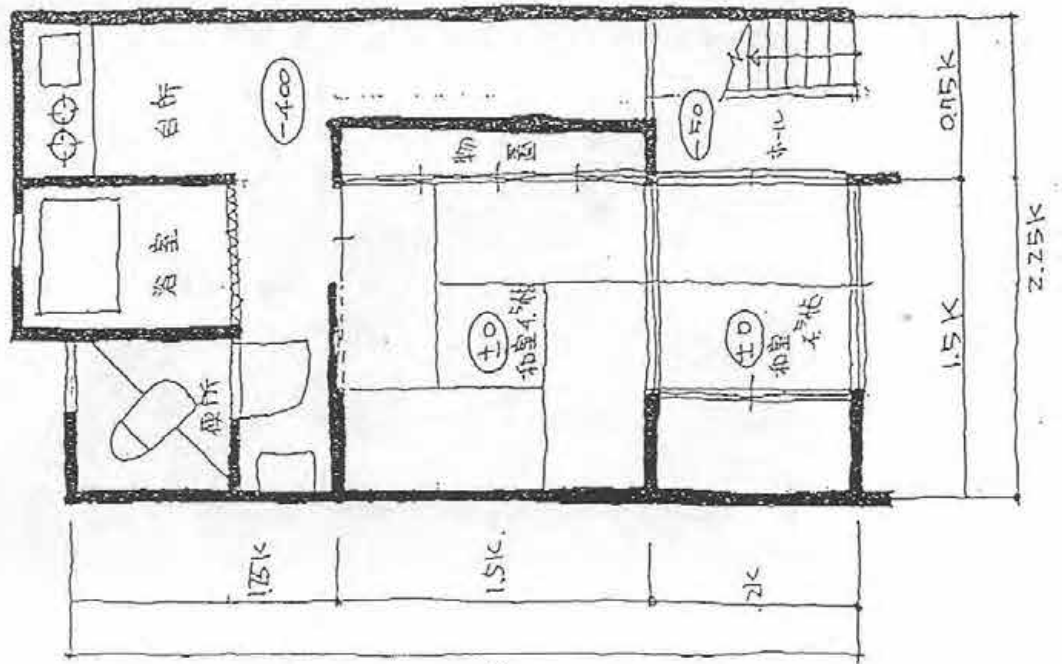
〔改造による本人及び家族の生活変化〕

特に使いにくかったトイレ、風呂にひとりで入れるようになった点。

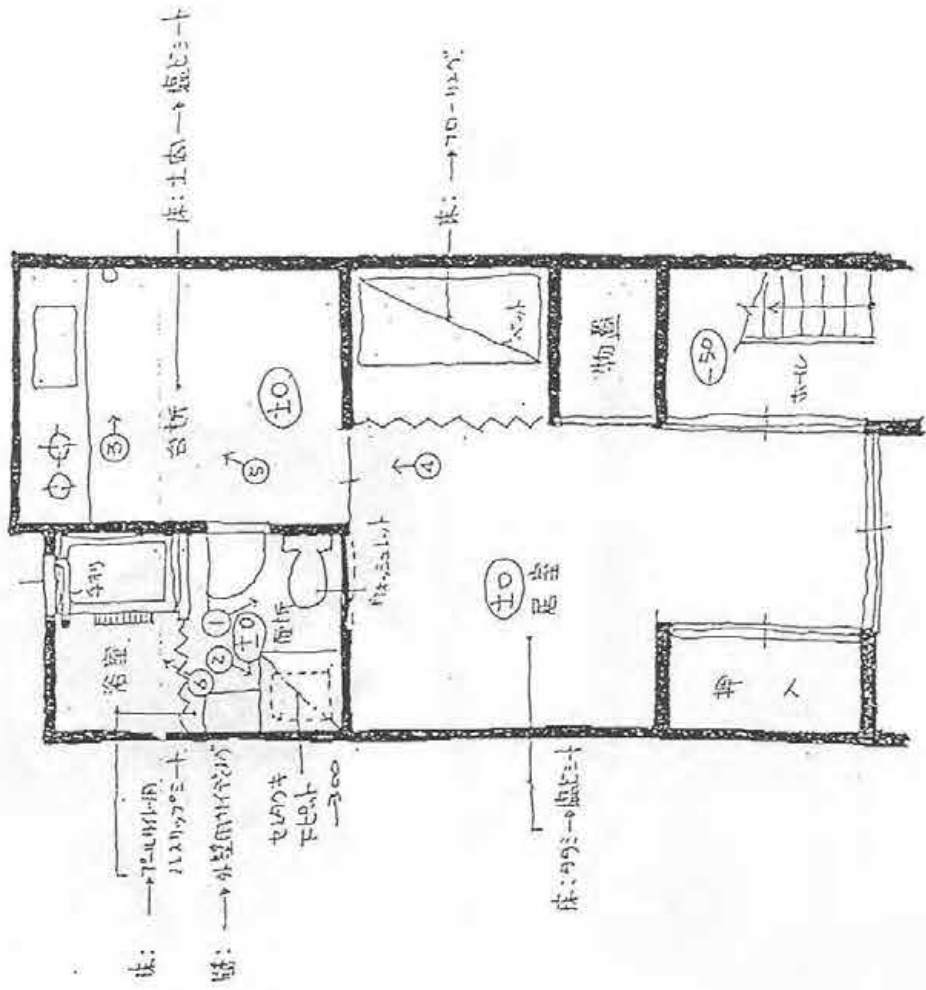
本人云く、居室、便所、浴室、台所に段差がないのが何よりとの事。

〔改善の問題点・残された課題〕

改善前



改善後



床: 土間 → 畳
壁: 外壁 → 内装仕上

洗面台
F.L. 200

床: 土間 → 畳



事例 14

事業の概要 (台所の改造)		受付：平成5年5月	
脳性マヒの単身女性がヘルパーの支援を受けながら自立生活を続けていくために、居室、廊下、浴室へのいざりによる移動を楽にし、座ったまま行う台所作業等の家事作業を楽にした事例			
改造費用： 434,732円 うち助成額： 434,732円			
福祉機器の利用 (日常生活給付事業利用) 車いす			
改善に関わった人：市担当職員、PT、市ケースワーカー、市建築士、ヘルパー			
改造事業実施者：			
原因疾患：脳性麻痺 女51歳 身障手帳2級			
障害名：脳性小児麻痺による下肢機能全廃			
ADL			
日常生活	1寝たきり	2車椅子	3介助で歩行可能 ④独歩
排泄	1おむつ	2ポータブル	3介助でトイレ ④自力
入浴	1出来ない	②介助で入浴	3自力で入浴
手の動作	1操れない	2軽く動かせる	③支障ない
食事	1介助	2一部介助	③自分で出来る
衣服の着脱	1介助	2一部介助	③自分で出来る
会話	1不自由・理解不能	2不自由だが可能	③普通・不自由なし
洗面	1介助	2一部介助	③自分で出来る
玄関出入り	1介助	②一部介助	3自分で出来る
階段昇降	①介助	2一部介助	3自分で出来る
家族構成	： 単身	主な介助者	： 無し
改造希望	： 本人の希望	改造に対する家族の態度	：
費用負担能力	： 普通	費用負担意志	： 普通
住 宅 持家、納屋改造、木造			
〔本人、家族の改造希望箇所〕			
トイレ、浴室、台所、居室の改造			

〔改善の具体的内容〕

台所は土間をカサ上げてフローリングし、居室との段差を解消。流し台の高さを250mmにし、座ったままで利用ができるようにした。浴室の洗い場を渡り廊下と同じ高さにかさ上げし、トイレへのスロープを設置して移動を楽にした。設備面ではスイッチとコンセントを座位で利用できるようにした。

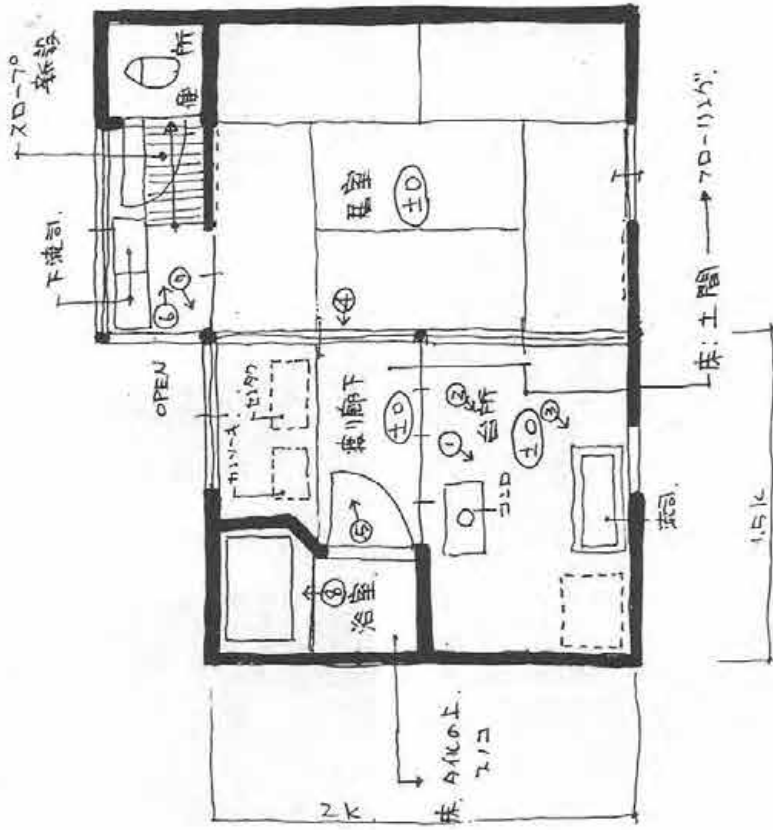
〔改造による本人及び家族の生活変化〕

台所は作業がしやすくなった。渡り廊下ができて、本人の移動は楽になったが、天井が低く（1550mm）なったので、介護がしにくいと思われる。

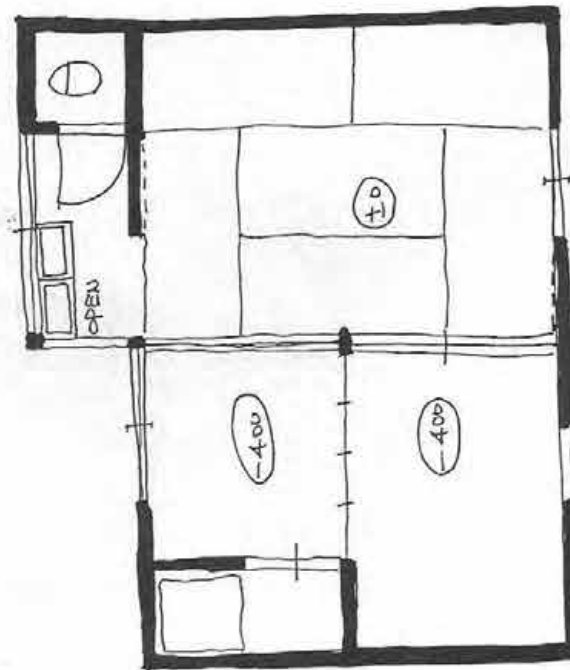
〔改善の問題点・残された課題〕

天井の低い納屋を住宅に改造して利用おり、土間のかさ上げで天井高が1550mmになり、ヘルパーの介護がしにくくなった。窓が無く暗く、換気も悪い。住宅改造のみで住居改善が図れる事例かどうかの判断が難しい。

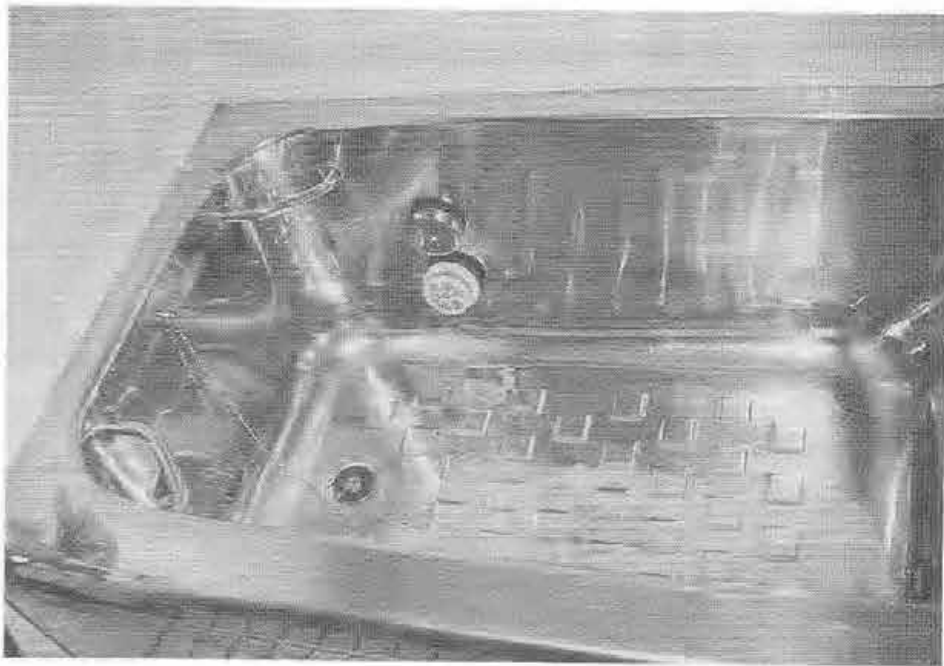
改善後



改善前







事例15

事業の概要 (手すりの設置)		受付：平成5年6月	
左片マヒの単身男性のために、ヘルパーの支援を受けながら自力生活が続けられるように、便所、浴室の導線上に、手すりや手掛かりの補強、浴室の床上げなどの改造を行い、移動を少しでも安全に行えるようにした事例			
改造費用：_____ 450,520円 うち助成額：_____ 450,520円			
福祉機器の利用 無し			
改善に関わった人：市担当職員、PT、市ケースワーカー、市建築士、ヘルパー			
改造事業実施者：設備業者			
原因疾患：脳梗塞 男65歳 身障手帳2級 障害名：左上下肢機能全廃			
ADL			
日常生活	1 寝たきり	2 車椅子	3 介助で歩行可能 ④独歩
排泄	1 おむつ	2 ポータブル	3 介助でトイレ ④自力
入浴	1 出来ない	2 介助で入浴	③自力で入浴
手の動作	1 操れない	②軽く動かせる	3 支障ない
食事	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
衣服の着脱	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
会話	1 不自由・理解不能	2 不自由だが可能	③普通・不自由なし
洗面	1 介助	2 一部介助	③自分で出来る
玄関出入り	1 介助	②一部介助	3 自分で出来る
階段昇降	1 介助	②一部介助	3 自分で出来る
家族構成	： 単身	主な介助者	： 無し
改造希望	： 本人の希望	改造に対する家族の態度	：
費用負担能力	： 普通	費用負担意志	： 無し
住 宅 公営、共同住宅2階建て、木造			
〔本人、家族の改造希望箇所〕			
浴室、廊下の手すり、トイレの手すり			

[改善の具体的内容]

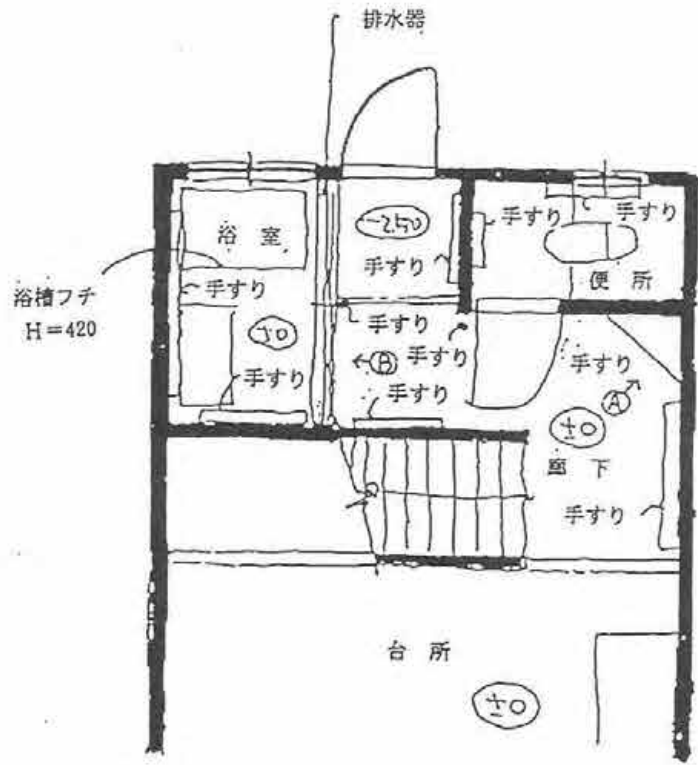
浴室、トイレへの導線上に横手すり2か所、縦手すり3か所設置。三角の電話台を固定式で設置。トイレ内に横手すり2か所、浴室内に移動のための横手すり、浴槽出入りのための縦手すりを設置した。洗い場を廊下と同じ高さまでカサ上げし、その結果浴槽の縁の高さが720mmから420mmに低くなった。

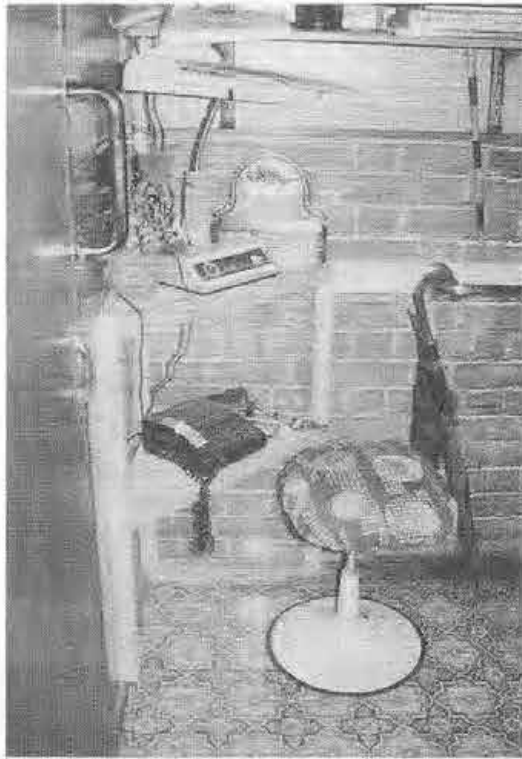
[改造による本人及び家族の生活変化]

片マヒで歩行困難な状態ではあるが、少しでも安全に居室からトイレ、浴室に移動できるようになり、トイレでの姿勢保持と立ち上がり、浴槽への出入りができるようになった。

[改善の問題点・残された課題]

通路の両面に手すりを付けたいが、スペース及び構造上の問題であきらめた。





事例16

事業の概要 (段差解消)	受付：平成5年5月
いざり移動でトイレ、浴室へ自分で行けるように改造し、介助の軽減を図った事例	
改造費用： 479,000円 うち助成額： 479,000円	
福祉機器の利用 無し	
改善に関わった人：市担当職員、市ケースワーカー、PT、保健婦、市建築士	
改造事業実施者：	
原因疾患：脊髄炎後遺症 男75歳 身障手帳2級 障害名：両下肢弛緩性麻痺	
ADL	移動手段 いざり移動
日常生活	1寝たきり 2車椅子 3介助で歩行可能 ④独歩
排泄	1おむつ 2ポータブル ③介助でトイレ 4自力
入浴	1出来ない ②介助で入浴 3自力で入浴
手の動作	1操れない 2軽く動かせる ③支障ない
食事	1介助 2一部介助 ③自分で出来る
衣服の着脱	1介助 2一部介助 ③自分で出来る
会話	1不自由・理解不能 2不自由だが可能 ③普通・不自由なし
洗面	1介助 ②一部介助 3自分で出来る
玄関出入り	①介助 2一部介助 3自分で出来る
階段昇降	①介助 2一部介助 3自分で出来る
家族構成	： 高齢夫婦世帯 主な介助者：妻 72歳
改造希望	： 本人、家族とも希望 改造に対する家族の態度：積極的
費用負担能力	： 普通 費用負担意志：普通
住宅 持家、一戸建、木造	
[本人、家族の改造希望箇所]	
浴室、玄関から浴室への渡り廊下の設置、トイレの段差解消、手すりの設置	

〔改善の具体的内容〕

玄関部分に浴室までの式台を設置し、それでも残る居室、浴室、洗面所への数センチの段差には、三角板を設け段差を緩和した。合わせて浴室の扉を交換した。

縁側と便所に半間四方の渡り廊下、その上部に庇を設け、同材料で便所の床を上げ段差を解消し、向きを90° 変え、L字型の手すりを設置した。

〔改造による本人及び家族の生活変化〕

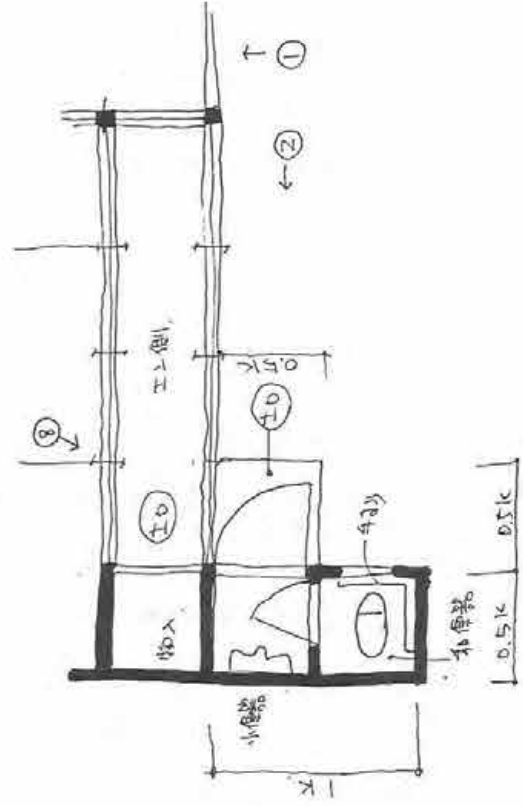
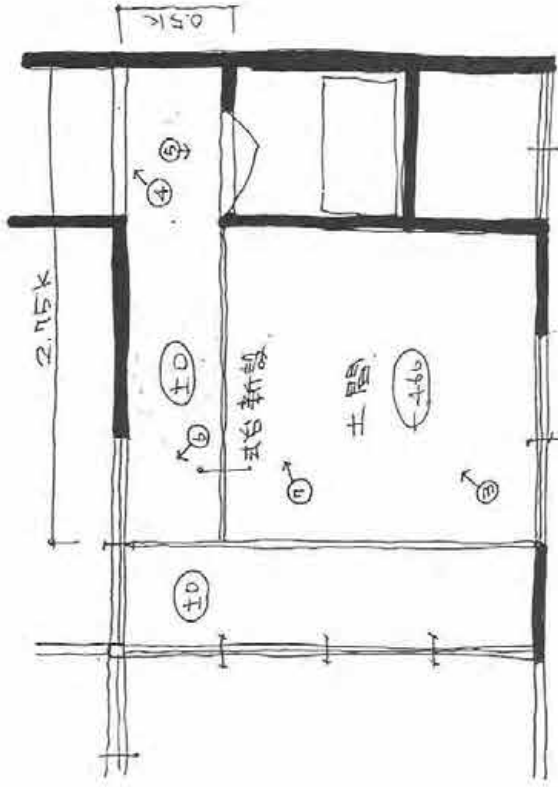
本人は、下半身の自由が全くきかず、手の力だけのいざり移動なので、段差がなくなったり緩和されたことで、トイレ、浴室、台所への移動が楽になり、膝間接が弱い妻にとっても介助負担の軽減になった。

〔改善の問題点・残された課題〕

居室から浴室、トイレそれぞれが遠く、移動が大変なようである。いざり移動（床座）の本人と膝間接が悪い妻（椅子座の方が楽）との根本的な生活様式の違いをどう調整するのか。例えば、便器は妻にとっては洋便器の方が楽なはずで難しい選択である。

改善後

8-7



改善前

8-7

